



希 望 の 丘



○ 節 分

江戸時代（太陰太陽暦）までは、「立春に最も近い新月（地球から見て、月が見えていない状態）」を「元日」とし、一般的に立春の前日に「節分」の行事が行われるようになったそうです。2024年の節分は、2月3日（土）です。ところで、節分と言えば豆まきですが、なぜ「鬼」の頭には牛の角があり、寅柄のパンツを履いているのかご存知ですか。それには「鬼門」が関係しています。鬼門とは北東の方角を指します。その昔、方角は十二支で表していたので、十二支を北から時計回りに並べると、東北は「丑寅の方角」と言われました。このことから鬼は、丑（牛）の角に、寅柄のパンツを履いているのです。何事にもちゃんとした意味があるのですね。

○ 第2回 自分で作るお弁当の日（1月22日）

第2回ともなると、生徒もお弁当作りの大変さが分かってきたようです。

- おかずはレシピを調べながら自分で全部作った。毎朝早くから作っているお母さんの大変さとありがたさを知った。
- たまに親がお弁当を作るのを手伝っていたけど、完全に自分で作ったことはなかったので、新鮮だった。高校になると毎日お弁当になり、親も忙しかったり、暇がなかったりした時には、進んで自分でお弁当を作りたいと思った。
- 普段、親にやってもらっていることを自分でやることで、親が朝早くから準備する大変さがわかった。高校では給食がなく、毎日弁当なので回数を増やしてほしい。
- こんな大変なことを、月に一度作ってくれているお母さんは、すごいなと思った。意外と料理が楽しかった。ちょっと手伝ってもらったから、今度は100%自分で作ってみたい。
- お母さん、お父さんのすごさを知った。
- 自分で作ってみて、朝早く起きて作るのは大変だけど、自分で作るお弁当はやっぱりおいしいなと思った。

など、親の大きさを知り、感謝を述べる生徒が多くいました。日々の生活の中で、感謝の気持ちを持てる生徒に感動しました。



【保護者のみなさまへ】

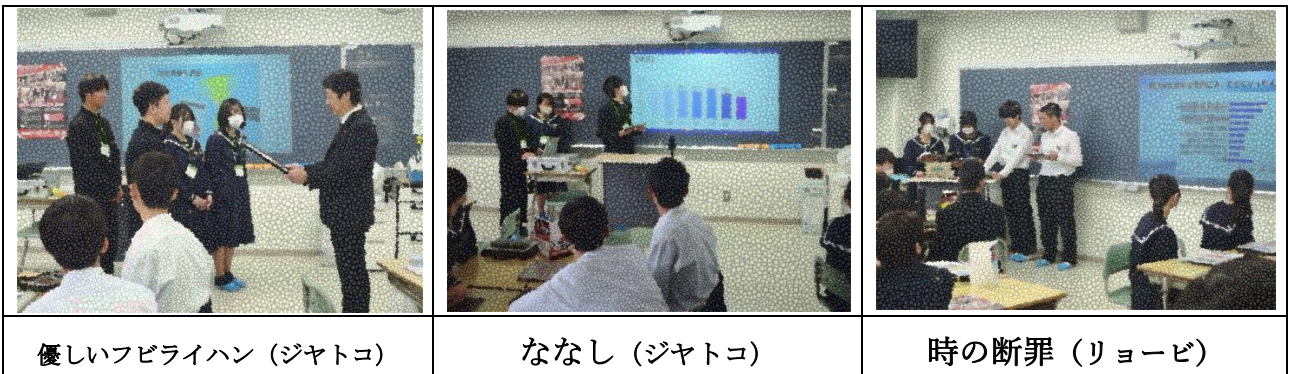
富士市の年間給食回数は180回と決まっております。「自分で作るお弁当の日」によって、お弁当の日が増えることはありません。今年度は2回実施しましたが、親への思いを深めたり、自分の成長に気付いたりすることができたようです。忙しい時間帯での指導は大変かもしれませんが、卒業後のお弁当準備や、将来の一人暮らしに向けての力を付けるきっかけになれば幸いです。

○ 3年 面接練習 (1月18日)



大人にとっては通ってきた道のりですが、多くの3年生にとって、高校入試は人生最初の受検(←今はこの文字)となります。全校体制での面接練習は、緊張と不安、真剣さが伝わってくる一日となりました。「言うことを準備していたのに頭が真っ白になった。」という生徒たち、今までにない緊張感を全身で味わったことが、本番での心の支えになります。自分の持っている今の最善を尽くしてください。

○ 2年 シズクリ プロジェクト静岡カップ・ファーストステージ (1月20日)



2年生が「総合的な学習の時間」に、企業とのタイアップで取り組んできたシズクリプロジェクト。その静岡カップ・ファーストステージに本校から3チームが進出しました。各チーム5分間の発表を行いました。選考の結果、チーム「優しいフビライハン」が28日のセカンドステージに進み、静岡新聞にインタビュー記事が掲載されました。

○ 1年 SPAC 演劇鑑賞 (1月23日)

1年生は演劇に集中して真剣に見入っていました。思わず声を出して反応する生徒に、演者の方が「そうだよね。そう思うよね」と、声を掛けてくれる場面もありました。



スクール・サポート・スタッフ (通称SSS) 公募のお知らせ

「チーム学校」の一員として、教員の業務(プリント印刷、袋詰め等)の手助けをしていただきます。やってみたい方は、教頭(田村)まで。

吉原二中 51-1115

